

## 古川高校同窓会事業 国際教育研修（Global Studies Program）の実施報告

令和 6 年 3 月 29 日(金)から 3 日間、古川高校蛍雪会館 3 階にて古川高校生 32 名（1 年生徒 24 名、2 年生徒 8 名）が参加して、国際教育研修グローバル・スタディーズ・プログラムが開催されました。今年度は古川高校で開催される 3 回目のプログラムとなりました。昨年度より、古川高校同窓会からご支援をいただき、同窓会事業として開催しています。

外国人留学生 6 名、ファシリテーターとして外国人講師 1 名の合計 7 名が来校し、午前 9:00 から午後 4:00 まで、外国人留学生とはもちろん、参加生徒同士も、英語で様々な話題について意見を交わし、プレゼンテーションを行い、最終日には一人ひとりがみんなの前でスピーチをしました。

1 日目。開講行事では、古川高校同窓会副会長の望月俊一様から激励のご挨拶をいただきました。ご自身の高校時代と比較しながら、現在のグローバル社会に対応するための機会として、大いにこのプログラムを活用してほしい、このプログラムを通して古高生が成長することを期待し、同窓会としても、できるだけ支援したいと思っているとお言葉をいただきました。続いて生徒代表で菅原太智君が決意表明を行いました。

その後、ファシリテーターと留学生が登場しました。今年度のファシリテーターはフィリピン出身の男性の方でした。今年度の留学生はフィリピン、ベトナム、ボツワナ、ベナン、マラウイ、イラン出身の方々でした。グループリーダーを務める留学生が各テーブルに入り、アイスブレイクが行われ、一気に英語が飛び交い始めました。生徒 5~6 人のグループに 1 人の留学生がリーダーとなり、ファシリテーターの指示に従って、グループごとに意見を出し合います。生徒たちは、留学生とあつという間に仲良くなり、お互いについて伝え合っていました。ファシリテーターが言っていることが分からなかったり、言いたいことがうまく英語で表現できなかったりしても、リーダーが分かりやすくフォローしてくれていました。1 日目が終わりと、帰り際、感想を尋ねると、どの生徒もとても疲れたと言っていました。朝から夕方まで英語漬け。脳を相当フル回転させていた様子が伝わって来ました。



2 日目。ファシリテーターは、生徒の様子を見ながら、取り組む活動の難易度を調整していたようです。リーダーたちの親身なサポートを得ながら、生徒たちは徐々に英語で考え英語で自分の意見を伝えることに慣れていきました。プログラムの途中、生徒に話しかけると日本人の私にも英語で答えるほどでした。それぞれの活動を通して生徒は、意見というものは一人ひとり違うもの、そして、違っていいのだということ、そして、自分の意見を受け入れてもらうことの嬉しさを、温かくじっくり聞いてくれるリーダーたちの姿勢から学んでいました。そして、意見が異なっても、それを伝えあうことで新しいアイデアが生まれることも実感して、だからこそ積極的にコミュニケーションを取ることが大切なのだということ



とも気付いていました。また、SDGsについて話し合っているときは、リーダーたちがそれぞれの問題について自国の現状をふまえて伝えてくれるのを聞いて、日本以外の国の視点を持つことができ、広い視野を持つことができたようです。

3日目。いよいよ最終日です。ファシリテーターやリーダーたちは控え室があったにも関わらず、休み時間も古高生と話していたいと、会場の後方に休憩する場所を設けてくれました。生徒たちは、事前に自分で設定していたリーダーたちとの交流の目標を達成しようと積極的に話しかけていました。

今年度は、プログラム最終ステージでのスピーチを保護者の方々も聞いていただくご案内したところ、5、6組の保護者の方がいらっやいました。生徒たちは、このプログラムで学んだこと、そして将来の夢を堂々と英語で話していました。中にはこの3日間でめざましく成長した生徒もいて、その生徒がスピーチしているのを聞いて、涙ぐんでいたリーダーもいました。また、スピーチの際には、同窓会から佐々木源副会長様にもご臨席を賜りました。ありがとうございました。

最後のクロージングセレモニーではグループごとに一人ずつに修了証が渡されました。生徒たちは、リーダーから修了証を手渡され、嬉しそうに、そして誇らしげに受け取る姿が印象的でした。今年度は1年生の参加者が多かったのですが、例年と比べても遜色ないレベルの3日間の生徒の取り組みでした。日頃の英語の授業で発信する力を身につけているのが伝わって来ました。普段の授業で取り組んだことを大いに発揮できる場として、今後もこのプログラムが継続して行ければと思っています。

今回参加した生徒には、このようなプログラムの時に限らず、普段の授業、部活動、学校行事の時に、高い意識を持って、外国人留学生が果たしていたリーダーのような役割を担ってほしいと願っています。

最後になりますが、同窓会からは多大なご支援をいただきました。そのおかげで参加が可能になった生徒、参加に踏み切った生徒も多数いました。古川高校同窓会の皆様には、心から感謝を申し上げます。参加した生徒は感謝の気持ちを忘れずに、大きな期待をかけていただいているからこそその多大のご支援だということを心に留め、この経験を今後の学校生活、人生に活かしてほしいと思います。

